

令和2年度事業報告

東日本大震災及び東京電力（株）福島第一原子力発電所事故から10年が経過しました。

震災後の放射線や原子力に対する県民意識の変化と、前回リニューアルから10年以上が経過した展示物の陳腐化に対応した原子力科学館のリニューアル工事は、5ヶ年計画の初年度（第一期）分となるガイダンスシアターの整備を行い、3月6日より一般公開を開始しました。

また、展示館事業及び普及啓発事業については、「中期計画」の初年度として、計画に沿って事業を進めてきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、延約3ヶ月に亘る2度の臨時休館を余儀なくされるとともに、イベントの中止や3密防止対策による参加人員の制限等を実施した結果、来館者数をはじめ事業計画に多大なる影響を受けたところです。

このような状況下ではありますが、今後とも、新型コロナウイルスの感染防止対策の徹底を図りつつ、限られた資源を有効に活用して事業を推進し、科学技術の振興に寄与してまいります。

※原子力科学館の臨時休館：令和2年4月1日～5月31日、令和3年1月19日～2月11日

I 展示館事業

1 原子力科学館の常設展示及び企画展示等

(1) 科学館展示物のリニューアル計画

科学館展示物等のリニューアルについては、リニューアル基本構想（5ヶ年計画）に基づく詳細設計に従い、茨城県及び関係市町村の支援並びに外部有識者の助言をいただきながら、計画どおり第一期工事（ガイダンスシアター「アトミックトラベル」）の整備を完了した。この間、来館者の安全と来館者数に影響の少ない冬季の休館日を中心に工事を実施した。

シアターは令和3年3月6日に、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に万全を期しながら、小規模な公開記念イベントを開催して、一般公開を開始した。

また、2月にはホームページやフェイスブックを活用し、当該工事完成計画図を公開するとともに、イベント告知のチラシを学校等へ配布するなど、積極的に情報発信を行った。

なお、シアター公開等により、3月の来館者数は、例年を大幅に上回る2,104名となった。

(2) 常設展示

	展示名	開催時期	内 容
①	常設展示	通年	<ul style="list-style-type: none">原子の科学や放射線の基礎、原子力と放射線の利用及び原子力の安全に関する展示ガイダンスシアター「アトミックトラベル」の展示（令和3年3月6日～）【新規】自然放射線を観察する「大型霧箱」の展示

②	放射線利用展	通年	・医療、工業、農業など広範な分野で利用されている放射線について、実物照射製品、医療施設等の模型、パネルを展示
③	J-PARC の概要	通年	・大強度陽子加速器施設 (J-PARC) について、パネル及び模型を展示
④	福島第一原発事故展示	通年	・事故の収束に向けた道筋に関する東京電力資料をパネルで展示 ・本県環境への影響に関する資料を展示
⑤	JCO 臨界事故模型	通年	【経済産業省からの受託事業】 ・JCO 臨界事故について、装置の模型、映像、パネルを展示
⑥	東海第二発電所の安全対策に係る展示	通年	【日本原子力発電(株)からの受託事業】 ・東海第二発電所における、福島第一原発事故以降の安全対策に係るパネル等を展示
⑦	梶田教授のノーベル物理学賞受賞記念展示	通年	・梶田教授のノーベル物理学受賞及び J-PARC とスーパーカミオカンデを繋ぐ T2K 実験の解説パネルを展示

(3) 企画展示及び関連講演会

	展示名・講演会名	開催時期	内 容
①	金星探査機「あかつき」	5/1～6/14	2010年の金星周回軌道投入の失敗を乗り越え、5年後の再挑戦で軌道投入に成功した日本初の金星探査機「あかつき」からの最新報告を紹介 *新型コロナウイルスの感染拡大の影響により5月31日まで臨時休館
	講演会「金星のお話ー宇宙の大きさを実感しよう!ー」	中止 (6/7)	*新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止
②	ケミカルパズル&ケミカルすごろくー化学物質と上手につきあおう!ー	7/7～8/30	パズルやすごろくの遊びを通じて化学物質について学び、科学物質との上手につきあい方や、「エコチル調査」について紹介
	実験教室「電気を作ってみよう」	8/8	講師：舟生武司氏 参加人数：55名
③	国際周期表年2019 特別展	11/17～ 1/11	過去から現在に至る人類社会に貢献した科学者たちへの感謝と尊敬の念やさらなる発展への期待をこめた展示

	実験教室「先生、人工イクラがスイスイ泳いでいます!？」	12/20	講師：茨城県立日立北高等学校 沢島博之氏 参加人数：40名
④	海と生きものとのわたしたち～3.11からの復興をめざして～	2/2～3/7	東日本大震災直後から海洋生態系の変化を調査・研究してきた「海洋研究者（海博士）」たちの活動や成果を紹介。 * 茨城県独自の緊急事態宣言を受け2月11日まで臨時休館
	講演会「サメの不思議な繁殖のおはなし」	3/6	講師：アクアワールド茨城県大洗水族館 魚類展示課 徳永幸太郎氏 参加人数：72名

(注) 全国科学館連携協議会との共催による企画展

(4) 貸しギャラリー

	展示名	開催時期	内 容
①	地球一周写真展 -World trip-	中止 (4/14～23)	* 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止 (令和2年2月29日～5月31日臨時休館)
②	アートロード展	10/6～25	・東海村に居住又は勤務する、文化協会東海美術連盟会員及びアートロード会員の作品展 (絵画・写真・書)
③	東海フォトクラブ 写真展	10/27～ 11/8	・クラブメンバーによる自然風景やスナップなど
④	常陸てまり展	12/8～4/4	・「二川良子と仲間達」による、てまり作品展 * 茨城県独自の緊急事態宣言を受け1月19日～2月11日臨時休館
⑤	3.11…福島 東日本大震災 10年	3/16～3/21	・震災から10年間の福島を写し取った写真の展示
⑥	第33回アートロード展	3/30～4/18	・東海村に居住又は勤務する、文化協会東海美術連盟会員及びアートロード会員の作品展 (絵画・写真・書)

2 原子力科学館イベント

	イベント名	開催時期	内 容
(1)	ゴールドデンウィークイベント	中止	* 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止 (令和2年2月29日～5月31日臨時休館)
(2)	夏休みイベント	7/18～8/30	① 夏休み5館スタンプラリー中止 ② 紙ダイナソー アインシュタイン博士からの謎解き挑戦状 自然放射線測定体験中止 詳細：Ⅱ普及啓発事業1(4)参照

			③ 工作教室の開催 詳細：Ⅱ普及啓発事業1(3)参照 来館者数：2,579名
(3)	クリスマス イベント	12/12、13	① 工作教室の開催 計2件 詳細：Ⅱ普及啓発事業1(3)参照 ② 盲導犬とのふれあい体験 ③ ジオミライ号、実験コーナー 来館者数：415名
(4)	バレンタイン イベント	中止 (2/13、14)	* 茨城県独自の緊急事態宣言を受け中止 詳細：Ⅱ普及啓発事業1(3)参照
(5)	親子星空観望会 &ナイトミュージ アム	8月、12 月、2月	計5回開催 詳細：Ⅱ普及啓発事業1(3)及び2(2)参照 来館者数：196名
(6)	毎日クイズラリー		科学館チャレンジクイズを実施：小学生以下対象

3 近隣科学館及び事業所等との連携

(1) 夏休み5館スタンプラリー

日鉱記念館、げんでん東海テラパーク、日立シビックセンター科学館、大洗わくわく科学館及び原子力科学館による夏休みスタンプラリーは新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止とした。

(2) 2館スタンプチャレンジ

東海原子力館別館との2館スタンプチャレンジを1月19日～3月21日(茨城県独自の緊急事態宣言を受け1月19日～2月11日臨時休館)に実施。2館達成者1,274名へ記念品を贈呈した。

(3) 職場体験

例年職場体験を実施しているが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、体験実施が中止となり、代わりとして、生徒からの科学館に対する質問に回答するという形で、職業インタビューを実施した。東海南中学校2年生3名(10月23日)、東海中学校2年生30名(11月6日)が、館内の見学の後、学芸員に対してインタビューを行った。

(4) 原子力広報機関連絡会の開催

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止

4 原子力科学館の運営管理

(1) 原子力科学館における新型コロナウイルスの感染拡大防止対策

- ① 職員のマスク着用、出勤前の体温測定の徹底及び来館者へのマスク着用をお願い
- ② 施設出入口及び館内にアルコール消毒液の設置(本館5ヶ所、別館1ヶ所)
- ③ 案内カウンター及びイベントでの机上に飛沫防止用の透明アクリル板等の設置
- ④ 非常扉等を開放しての換気強化及びイベント参加人数の制限
- ⑤ 多くのお客様が触られる展示物、手摺等は、定期的に消毒
また、抗ウイルス・抗菌性軟質フィルム の貼付

- ⑥ いばらきアマビエちゃんの事業者登録
- ⑦ 入口付近に非接触式検知器を設置し、来館者の体温を測定

(2) 展示施設の維持管理

- ① 地震時避難誘導訓練（毎月）
- ② 火災時の通報訓練、消火訓練（1回/年、11月9日）
- ③ 普通救命講習会（1回、9月23日）
- ④ 受電設備の整備
老朽化した受電設備（高圧機器及び低圧計器）の交換を行った。

(3) 原子力科学館への誘客広報

- ① 周辺地域の公共施設、観光施設等に原子力科学館リーフレットを常時配置
- ② 近県の旅行代理店や茨城県内のバス事業者に原子力科学館リーフレットを送付
- ③ 原子力科学館の年間イベントスケジュールの早期発信

5 令和2年度来館者数

(単位：人)

	2年度	元年度	30年度	増減 (2年度－元年度)	備考 (H22年震災年度)
団体	1,069	3,462	3,818	△2,393	5,801
個人	9,302	17,422	17,446	△8,120	25,232
計	10,371	20,884	21,264	△10,513	31,033

(注) 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により R2. 4/1～5/31 及び R3. 1/19～2/11 臨時休館

II 普及啓発事業

1 講演会、セミナー等開催事業

	事業名	実施時期	内 容
(1)	教員向けセミナー	7、8月	原子力教員セミナー【茨城県からの受託事業】 公告なし *新型コロナウイルスの感染拡大の影響による
(2)	出前授業	9/30～3/2	学校への原子力専門家派遣事業 【茨城県からの受託事業】 学校へ出向き、授業の一環として放射線に関する実験教室や講演を実施 開催場所：各小中高等学校など 実施回数：27回 参加人数：1,538名 (詳細は別表1のとおり)

(3)	<p>サイエンス工房</p> <p>【夏休みイベント】</p> <p>【クリスマスイベント】</p> <p>【バレンタインイベント】</p> <p>【親子星空観望会】</p> <p>【その他】</p>	<p>8/12</p> <p>8/20</p> <p>8/22</p> <p>12/12</p> <p>12/13</p> <p>12/12、13</p> <p>中止 (2/13、14)</p> <p>8/7</p> <p>8/21</p> <p>8/28</p> <p>12/17</p> <p>2/19</p> <p>10/1</p> <p>11/11</p> <p>3/6、7</p>	<p>次世代層を対象に、科学への関心・興味を喚起することを目的に実施</p> <p>① 工作教室「カラフルリングリンググライダー」 参加人数：71名</p> <p>② 放射線の飛跡が見える「霧箱」の作製 参加人数：25名</p> <p>③ 工作教室「UFOみたいななかみざらブーメラン」 参加人数：34名</p> <p>④ 工作教室「リユースけん玉」 参加人数：30名</p> <p>⑤ 工作教室「カラフルたこ」 参加人数：50名</p> <p>⑥ ジオミライ号 展示車乗車 参加人数：299名 ベントナイト実験 参加人数：129名 バスボム作り 参加人数：167名 協力：NUMO 原子力発電環境整備機構</p> <p>⑦ 工作教室「くるくるやじろべー」</p> <p>⑧ 実験教室「カラフルパラシュート」</p> <p>⑨ 参加人数：35名</p> <p>⑩ 参加人数：41名</p> <p>⑪ 参加人数：40名</p> <p>⑫ 参加人数：39名（ナイトミュージアム実施）</p> <p>⑬ 参加人数：41名（ 〃 ） 詳細：Ⅱ普及啓発事業2（2）参照</p> <p>⑭ 工作教室「UFOみたいななかみざらブーメラン」 参加人数：130名</p> <p>⑮ 放射線測定体験 参加人数：42名</p> <p>⑯ 工作教室「入浴剤づくり」 協力：日立シビックセンター科学館 参加人数：276名</p> <p>合計：1,449名</p>
(4)	<p>科学館でのイベント（サイエンス工房以外）</p>	<p>8/1～8/30</p> <p>7/18～8/30</p>	<p>① 紙ダイナソー（自分で塗った恐竜が動きだす） 参加人数：534名</p> <p>② アインシュタイン博士からの謎解き挑戦状 参加人数：684名</p>
(5)	<p>シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」</p>		<p>アインシュタインスクール 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加人数を制限して開催</p> <p>【常陸太田市との共催事業】 （会場：常陸太田市総合福祉会館）</p>

		9/19 10/10 11/7 12/5 中止 (1/25)	<p>① 第1回 演題：放射線の基礎 講師：茨城大学教授 田内 広 氏 参加人数：32名</p> <p>② 第2回 演題：原子力事故と安全・防災対策 講師：東京大学教授 岡本 孝司 氏 参加人数：31名</p> <p>③ 第3回 演題：放射性廃棄物と原子燃料サイクル 講師：東京大学教授 寺井 隆幸 氏 参加人数：32名</p> <p>④ 第4回 演題：コロナ禍での環境とエネルギー問題 講師：常葉大学教授 山本 隆三 氏 参加人数：31名 合計：126名</p> <p>⑤ 原子力施設見学会：日本原子力発電(株) 東海第二発電所 * 茨城県独自の緊急事態宣言を受け中止</p>
(6)	原子力と放射線の基礎知識普及啓発講座	中止 (7/3～3/23)	<p>【茨城県からの受託事業】</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催予定の4件が中止となったため、原子力と放射線の基礎知識普及啓発講座テキストの原子力科学館ホームページ上での公開及び希望者への配布を行った。</p>
(7)	出前原子力展示	全て中止 (8/22) (11/14、15) (11/23)	<p>市町村等のイベントに霧箱やパネルを展示し、放射線や原子力の基礎知識のミニ教室を開催 * 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により全て中止</p> <p>① なかひまわりフェスティバル 開催場所：那珂総合公園</p> <p>② 商工感謝祭&大洗あんこう祭 開催場所：大洗マリンタワー周辺</p> <p>③ 東海 I～MO のまつり 開催場所：東海文化センター</p>
(8)	視察研修 研修会	11/27	<p>研修 福島方面（福島第一原子力発電所等） 参加人数：22名</p>
(9)	エネルギー学習バス		<p>児童・生徒に原子力科学館の見学と体験教室を通して、放射線の基礎知識を含むエネルギーについて学ぶ学校へ、バス借上代金の一部を補助する制度</p>

		9/30	① 第1回 学校等：日立市立東小沢小学校 参加人数：21名
		10/9	② 第2回 学校等：ひたちなか市阿字ヶ浦小学校 参加人数：57名
		12/8	③ 第3回 学校等：水戸市立下大野小学校 参加人数：13名
(10)	新春のつどいの開催	中止 (1/7)	1月7日開催予定だったが新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止

2 近隣科学館及び事業所等との連携

(1) 第26回東海 I～MO のまつり

*新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止

(2) 親子星空観望会

花立山天文台ボランティアスタッフ及び日立シビックセンター科学館の天文ボランティアの方に講師として対応いただいた。(8/7、21、28、12/17、2/19)

(3) 原子力科学館イベント

- ・ NUMO 原子力発電環境整備機構にジオミライ号展示車、ベントナイト実験コーナー等で協力いただいた。(クリスマスイベント 12/12、13)
- ・ 日立シビックセンター出張科学館「入浴剤を作ろう」で協力いただいた。(3/6、7)

3 調査・分析、資料収集・提供事業

(1) 広報紙「かがやき」の発行

発行回数	3回/年 新型コロナウイルスの感染拡大の影響によるイベント中止により1号休刊
発行部数	7,500部 (2,500×3回)
主な内容	<p>第77号 (9月8日発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休み科学館イベント 2020、原子力科学館新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みについて、令和2年度定時総会を開催、シリーズ「原子力施設の新規制基準」、市町村秋のイベント情報、シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」報告、展示館イベント情報他 <p>第78号 (12月10日発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修等事業研修会開催報告、シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」報告、東海村講演会報告、市町村冬のイベント情報、展示館イベント情報他 <p>第79号 (3月11日発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」報告、クリスマスイベント・バレンタインイベント報告、JRR-3 運転再開、市町村春のイベント情報、展示館イベント情報他

*本年度も、原子力協議会ホームページに掲載し、適時に情報提供を図った。

(2) 原子力施設安全調査員の市町村等への配置【茨城県からの受託事業】

実施時期	令和2年4月1日～令和3年3月31日
配置先及び 配置人数	茨城県、東海村、大洗町 各2名 那珂市、水戸市、日立市、常陸太田市、鉾田市、茨城町 各1名
活動内容	原子力防災や環境放射線監視業務の支援

(3) 環境放射線監視データの整理・分析【茨城県からの受託事業】

実施時期	令和2年5月8日～令和3年3月31日
実施内容	監視委員会評価部会報告書(案)取りまとめ、データ分析、印刷 85部×4回 監視委員会評価部会報告書取りまとめ、印刷 105部×2回 環境放射線監視季報 取りまとめ、印刷 320部×2回

(4) 新聞及びラジオ等を媒体とする原子力広報【茨城県からの受託事業】

新聞広報	
実施時期	令和3年2月20日
実施回数	1回
実施内容	原子力の一般知識を普及啓発するため、新聞に原子力をテーマとした記事を掲載 サイズ：全5段 黒1色 掲載紙：地方紙1紙（茨城）、中央紙地方版5紙（朝日・読売・毎日・東京・産経）、経済紙1紙（日経） タイトル：エネルギーについて学べる県内の施設
ラジオ広報	
実施時期	令和3年2月15日～3月12日
実施回数	40回（2回／日）
実施内容	茨城放送を活用し、専門家がアナウンサーの問いにわかりやすく答えるQ&A形式で実施。質問内容は、各種講演会等で寄せられたものをベースに作成
動画広報【新規】	
実施内容	ラジオ広報のQ&A形式内容を、さらにわかりやすく図や表を加え動画として制作

III 役員等に関する事項

	日程	審議事項
第1回理事会	5月29日	令和元年度事業報告の承認、令和元年度収支決算報告書の承認、令和2年度定時総会開催、中期計画（平成27年度～令和元年度）の実績、役員候補者名簿（案）、令和元年度会

		員異動状況について
定時総会	6月24日	令和元年度事業報告及び収支決算、理事の選任、中期計画、原子力科学館のリニューアル計画、会員異動状況について
第2回理事会	11月19日	令和2年度収支予算の補正(案)、賛助会員の入会、原子力科学館のリニューアル進捗状況、新型コロナウイルス感染拡大の影響、新春のつどいの開催について
第3回理事会	2月26日	令和2年度事業報告書の承認、令和2年度収支予算の補正・決算見込みの承認、令和3年度事業計画書の承認、令和3年度収支予算書の承認、原子力科学館のリニューアル進捗状況、令和元年度会員異動状況について

* 第1回及び第3回理事会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、一般社団法人および一般財団法人に関する法律第96条及び当協議会定款第34条第2項の規定に基づき、書面による開催とした。

IV 組織体制等に関する事項

1 財務体質の強化

会員の退会及び年会費の減額が続いており、更に施設・設備の老朽化に伴う修繕費の増加が避けられず、財務状況は依然として厳しい状況にある。

このため、新規会員の獲得、退会の慰留、会費の増額要請のほか、経費の削減を図るなど、財務体質の強化に努めた。

2 事業力の強化

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、原子力教員セミナーの中止や放射線・原子力の基礎講座等の普及啓発事業並びに近隣自治体からのからの霧箱製作教室等の受託事業の受け入れ数の減少が余儀なくされたが、感染防止対策を行い可能なかぎり受託事業を実施した。

また、このような状況下においても、近隣科学館との連携を密にし、連携業務を実施するなど事業協力の強化に努めた。

3 組織体制

数少ない人的資源を有効に活用するため、日頃から職場研修等を通じて、職員の事務処理能力の向上とスキルアップを図るとともに、「顧客第一」の徹底を図った。

V 新型コロナウイルスの感染拡大の影響

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、原子力科学館は令和2年2月29日から令和2年5月31日及び令和3年1月19日から令和3年2月11日を臨時休館とし、この期間中に計画していた多くのイベントが中止となった。また、県の受託事業や市町村からの受託事業が中止となるとともに、近隣市町村の産業祭等もあいついで中止となり出前展示も実施できない状況となった。

科学館が通常開館となっても、来館者数については行動の自粛等により昨年度に比べると約半数に落ち込んだ。(来館者数－参考資料参照)

なお、科学館の開館及びイベント開催に当たっては、感染防止のための消毒や換気及び人数制限等の3密防止対策を実施した。

また、IT化推進ワーキンググループを設置し、コロナ禍でのITの活用による広報活動等について検討を行っている。

令和2年度学校への原子力専門家派遣事業の実績一覧

No.	日 時			市町村	学 校	対 象	実施人数	講義	霧箱	測定
1	9月30日	水	14:00～15:30	日立市	※東小沢小学校	1～6年生	21			○
2	10月9日	金	13:15～14:15	ひたちなか市	※阿字ヶ浦小学校	1～3年生	57			○
3	10月23日	金	13:00～15:00	水戸市	※笠原中学校	1年生	30		○	
4	11月7日	土	13:30～15:00	水戸市	水城高校	2年生	19		○	○
5	11月17日	火	11:30～12:30	水戸市	県立水戸聾学校	1～3年生	16	○		○
6	11月20日	金	11:00～12:00	水戸市	茨大付属小学校	5年生	32		○	
7	12月1日	火	13:00～14:15	常陸大宮	※大賀小学校	5年生	6		○	
8	12月2日	水	13:50～15:40	筑西市	下館北中学校	2年生	41		○	○
9	12月3日	木	14:50～15:40	筑西市	下館北中学校	3年生	29		○	○
10	12月8日	火	9:00～10:00	水戸市	※下大野小学校	5年生	13		○	
11	12月15日	火	9:30～10:15	東海村	白方小学校	6年生	30		○	
12	12月16日	水	9:55～11:45	東海村	東海高校	2年生理系	4			○
13	12月16日	水	13:55～14:40	東海村	白方小学校	6年生	31		○	
14	12月17日	木	9:30～10:15	東海村	白方小学校	6年生	31		○	
15	12月21日	月	9:55～12:45	東海村	東海高校	1年生	70		○	
16	12月22日	火	9:55～12:45	東海村	東海高校	1年生	71		○	
17	12月23日	水	9:30～12:15	ひたちなか市	那珂湊第二小学校	4, 5年生	53			○
18	1月18日	月	9:40～11:30	水戸市	水戸第二中学校	2年生	68		○	
19	1月19日	火	9:40～11:30	水戸市	水戸第二中学校	2年生	68		○	
20	1月20日	水	10:25～12:00	八千代町	中結城小学校	6年生	45		○	
21	1月29日	金	8:40～11:20	水戸市	三の丸小学校	6年生	84			○
22	2月8日	月	13:30～13:50	日立市	大久保中学校	1～3年生	498	○		
23	2月10日	水	9:30～12:05	神栖市	太田小学校	5, 6年生	55			○
24	2月15日	月	10:35～12:25	日立市	日高中学校	3年生	57		○	
25	2月16日	火	10:35～12:25	日立市	日高中学校	3年生	55		○	
26	2月17日	水	10:45～12:20	つくば市	栄小学校	6年生	40		○	
27	3月2日	火	12:45～13:30	常陸太田市	※里美小学校	6年生	14		○	

※：原子力科学館へ来館しての実施

実施人数合計 1,538 人